

お知らせ



結婚支援事業を始めます

男性は30年間で約5倍... これは年々上昇している生涯未婚率です。未婚者の増加・晩婚化は全国的な傾向となっております。

「そろそろ結婚したい...」そんな未婚男女の出会いを支援する事業を9月より始めます。

婚活を支援して下さる方を左記のとおり「縁ジェルサポート」としてお願いいたしました。

Table with 2 columns: Name, Address. Includes names like 菅谷 吉田 一雄, 大塚 治子, 川島 陸川 月子, etc.

利用ご希望の方は写真をご持参の上、社協窓口にてお申込み下さい。

問合せ 社会福祉協議会 62-0722

金婚式のご案内

結婚50年の方々を対象に金婚祝いを行います。

億円です。

1等 3億円×13本(発売総額390億円・13ユニットの場合)

前後賞 各1億円×26本(発売総額390億円・13ユニットの場合)

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

発売期間 9月28日(月)～10月16日(金)まで。抽選日 10月23日(金)



小松崎菜桜ちゃん(1歳4ヶ月)・敢太くん(3歳5ヶ月)

生まれ! 我が家のアイドルたち



お子さんの写真を募集しています。対象 嵐山町内にお住まいの就学前のお子さん

問合せ 地域支援課 政策創生担当 62-2152

日時 10月7日(水) 14時～16時

対象 昭和40年1月1日～12月31日の間に婚姻し、町内に1年以上居住されているご夫婦。

先ずの期間以前(昭和37～39年)に婚姻し、まだ当町でお祝いを受けていないご夫婦。

申込み 9月11日(金)までに社会福祉協議会まで

62-0722

埼玉県文化振興基金助成事業の受付について

対象

12月～平成28年3月にアマチュア文化団体が実施する文化活動(活動成果の発表など)

12月～平成28年3月に伝統・郷土芸能団体が実施する伝統・郷土芸能用具の備品整備、後継者育成等

12月～平成28年3月に文化団体やNPO等が実施する子どもを対象とした文化芸術の体験教室や文化芸術を担う若手人材の発掘・育成を目的としたワークショップ等

金額 ①2分の1以内(上限25万円) ②③対象経費の20万円以内

申込み 9月1日(火)～9月24日(木)(消印有効)の期間内に所定の事業計画書(県ホームページか

9月24日～30日は結核予防週間です

「結核は過去の病気...」と思っていますか?世界では、人口の3分の1が結核に感染しており、埼玉県でも約1,000人が発病している我が国最大の感染症です。結核は、早く発見して治療することで治る病気です。

問合せ 東松山保健所 62-0280

「いっしょに巡ろう」スタンプラリーを実施

比企地域では、「菅谷館跡」「松山城跡」「杉山城跡」「小倉城跡」が国指定史跡となっており、このうち「菅谷館跡」と「松山城跡」で、スタンプラリーを実施いたします。

施設 菅谷館跡:埼玉県立嵐山史跡の博物館 松山城跡:吉見百穴の博物館 記念品 キャラクターグッズ 問合せ 地域支援課 政策創生担当 62-2152

埼玉県文化振興課(入手)を郵送で同課へ。

埼玉県民生生活部 文化振興課 048-1830-2875

発達障害者就業支援センター(ジョブセンター)について

埼玉県では、発達障害者に特化した、就労相談から職業能力評価、就労訓練、就職活動支援、職場定着支援までをワンストップで提供する「発達障害者就業支援センター(ジョブセンター)」を運営しています。

対象 医師の診断や障害者手帳の有無にかかわらず、発達障害の特性を持ち、その自覚がある方で企業等への一般就労(障害者雇用枠での就労を含む)を希望している方。ただし、就労移行支援事業としての就労訓練を受けられる際は、医師の診断及び市町村による障害福祉サービスの受給決定が必要ですよ。

場所 ①ジョブセンター川口(川口市本町4-1-8・川口センタービル4F) ②ジョブセンター草加(草加市氷川町2-10-11・シーバイビル3F) 048-1929-17600

募集要項の配布期間 9月18日(金)～10月2日(金) 現場説明 10月7日(水) 申請の受付期間 10月26日(月)～11月6日(金) 募集要項の配布・申請書の提出 問合せ 比企広域市町村圏組合事務局

施設の概要 名称 東松山斎場 所在地 埼玉県東松山市松山町2-18-32 指定管理者が行う業務 ①斎場の施設等の使用許可に関する業務 ②火葬に関する業務 ③斎場の使用に係る料金の收受等に関する業務 ④斎場の施設等の維持管理に関する業務 ⑤自主事業 ⑥先に掲げるもののほか、斎場の管理運営上、管理者が特に必要と認める業務

指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日(原則3年間)

募集要項の配布期間 9月18日(金)～10月2日(金) 現場説明 10月7日(水) 申請の受付期間 10月26日(月)～11月6日(金) 募集要項の配布・申請書の提出 問合せ 比企広域市町村圏組合事務局

東松山斎場の指定管理者を募集します

職業訓練を受講しませんか? 一定の要件を満たせば訓練期間中10万円の「職業訓練受講給付金」の支給が受けられます。ご希望に応じた訓練が多数ございますのでハローワークにてご相談ください。職業訓練で実技を身に付け早期の就職を目指しましょう。

訓練コース パソコン・webデザイン・溶接・機械加工等 訓練期間 概ね3～6か月 問合せ ハローワーク東松山 22-0240

防衛省採用試験 防衛医科大学医学教育部看護学科学生(自衛官候補看護学生) 受付期間 9月5日(土)～30日(水) 試験日 10月17日(土) 資格 平成28年4月1日に18歳以上21歳未満であること(28年3月に高等学校又は中学校卒業見込みを含む) 高等学校又は中学校卒業後及び日本国籍を有する者 問合せ 自衛隊埼玉地本能谷地域事務所 048-1522-14855

③ジョブセンター川越(川越市脇田本町13-5・川越第一生命ビル5F) 049-1249-18772

東松山斎場の指定管理者を募集します

施設の概要 名称 東松山斎場 所在地 埼玉県東松山市松山町2-18-32 指定管理者が行う業務 ①斎場の施設等の使用許可に関する業務 ②火葬に関する業務 ③斎場の使用に係る料金の收受等に関する業務 ④斎場の施設等の維持管理に関する業務 ⑤自主事業 ⑥先に掲げるもののほか、斎場の管理運営上、管理者が特に必要と認める業務

指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日(原則3年間)

募集要項の配布期間 9月18日(金)～10月2日(金) 現場説明 10月7日(水) 申請の受付期間 10月26日(月)～11月6日(金) 募集要項の配布・申請書の提出 問合せ 比企広域市町村圏組合事務局

職業訓練を受講しませんか? 一定の要件を満たせば訓練期間中10万円の「職業訓練受講給付金」の支給が受けられます。ご希望に応じた訓練が多数ございますのでハローワークにてご相談ください。職業訓練で実技を身に付け早期の就職を目指しましょう。

訓練コース パソコン・webデザイン・溶接・機械加工等 訓練期間 概ね3～6か月 問合せ ハローワーク東松山 22-0240

防衛省採用試験 防衛医科大学医学教育部看護学科学生(自衛官候補看護学生) 受付期間 9月5日(土)～30日(水) 試験日 10月17日(土) 資格 平成28年4月1日に18歳以上21歳未満であること(28年3月に高等学校又は中学校卒業見込みを含む) 高等学校又は中学校卒業後及び日本国籍を有する者 問合せ 自衛隊埼玉地本能谷地域事務所 048-1522-14855

埼玉県庁土地水政策課 048-1830-2189

オータムジャンボ宝くじが販売されます

今年のオータムジャンボ宝くじは、1等・前後賞合わせて5

〒355-10073 東松山市大字上野本1300-1 23-9331

さいたまの水と森ふれあい体験参加者募集

対象 小学生以上(小・中学生は保護者同伴) 日時 11月1日(日) 7時30分～17時30分 場所 荒川上流の水源地散策及び滝沢ダム(秩父市)見学(バスで移動)

集合場所 熊谷駅(7時20分) 西武秩父駅(8時40分) 費用 1,000円(昼食代) 定員 40名 申込み 10月9日(金)(必着) 電子申請 埼玉県庁土地水政策課のホームページ。

往復はがき 住所、氏名、電話番号、小中学生の場合は学年、希望の集合場所を明記 330-9310 埼玉県庁土地水政策課(住所記入不要) ※応募者多数の場合は抽選です。

問合せ 埼玉県庁土地水政策課 048-1830-2189

オータムジャンボ宝くじが販売されます

今年のオータムジャンボ宝くじは、1等・前後賞合わせて5

パート従業員募集中! 嵐山町の自然豊かな農畜産物を生かしたオリジナル商品の加工業務等のパート従業員を募集いたします。

【募集人員】若干名 【業務内容】農畜産物の加工作业及び販売 【応募資格】63歳以下の健康で町内に居住する人 【勤務時間】午前5時～午前11時 【賃金】時給805円 【選考方法】書類選考の上面接 【応募方法】自筆の履歴書(写真貼付)1通を郵送で提出してください。

お弁当、赤飯、まんじゅう等 予約注文承ります。 住所 嵐山町大字千手堂690-1 電話 0493-62-8062

編集後記 嵐山町の夏の風物詩「嵐山夏まつり」の取材に行ってきた。参加者の写真を撮ろうとすると、皆さんが笑顔で応えてくれて、私も嬉しい気持ちになりました。これからも嵐山町が「笑顔になれる町」になれることを願っています。さて、今月号の特集では「防災」について掲載をいたしました。あの東日本大震災から早くも4年半が経過しようとしており、記憶から薄れつつあります。自分と大切な人の命を守るため、日頃からの「備え」を万全にしませんか?(S)